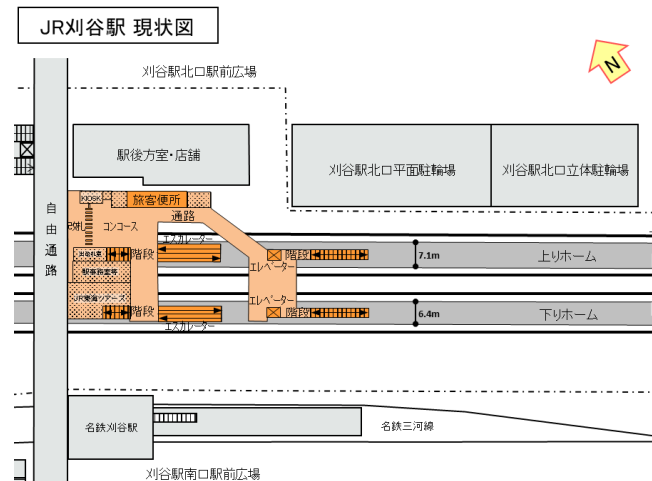


JR刈谷駅総合改善事業

1 概要

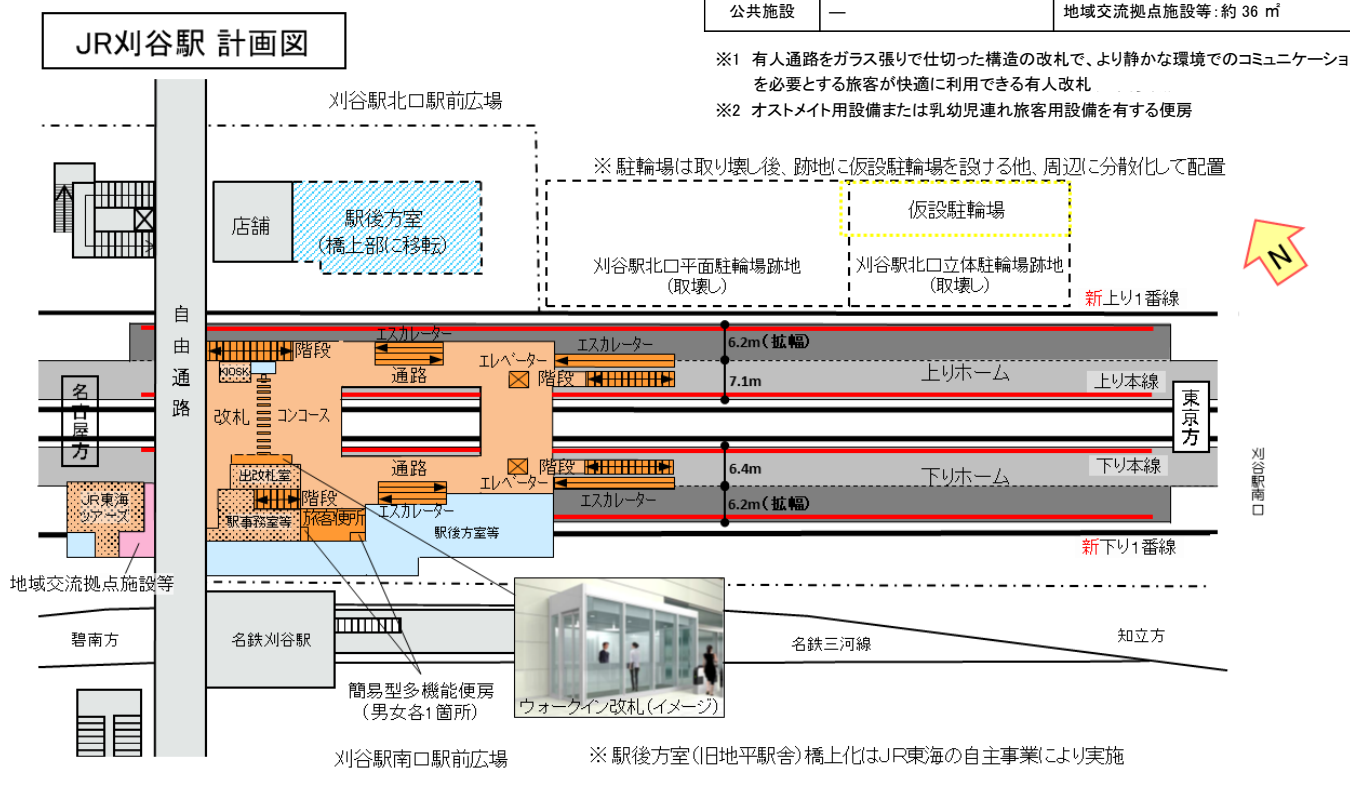
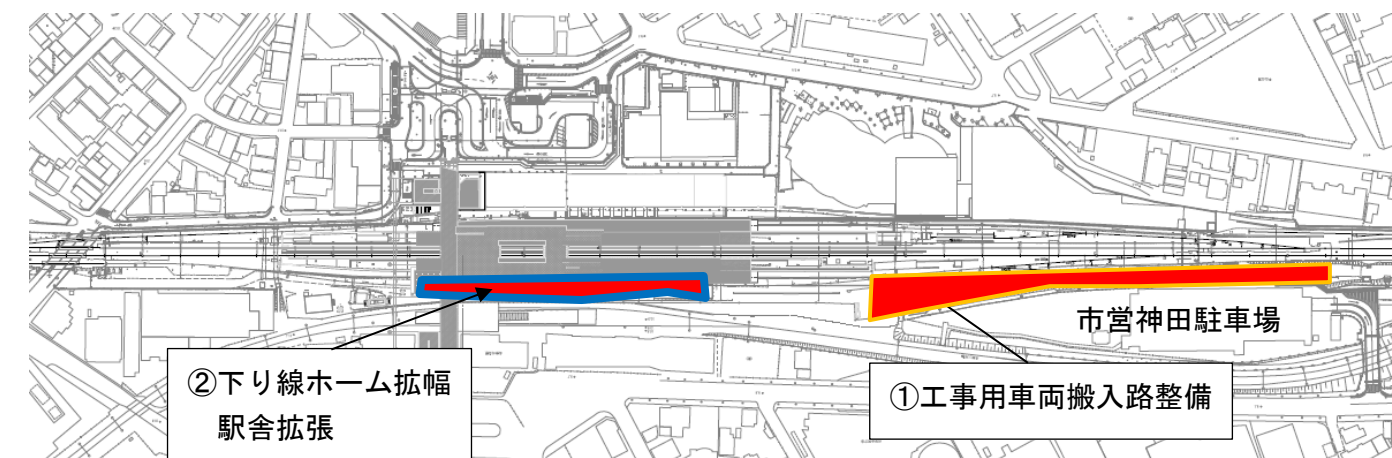
JR刈谷駅は、駅利用者の安全性の確保と利便性の向上を目的にホームの拡幅、ホームドアの設置、駅舎の改修を中心とした駅の改良事業を実施しています



施設	現状	計画案
ホーム	上り:約 7.1 m 下り:約 6.4 m	上り:約 13.3 m(6.2 m拡幅) 下り:約 12.6 m(6.2 m拡幅) ※ホーム拡幅に伴い上家も拡幅 ※拡幅ホーム延長約170m(上り下りとも)
ホームドア	—	上下全 4 線に新設
昇降設備	階段:各ホーム 2 箇所 エスカレーター:各ホーム 2 基 エレベーター:各ホーム 1 基	階段:各ホーム 2 箇所 エスカレーター:各ホーム 3 基 (各ホーム 1 基増設) エレベーター:各ホーム 1 基
コンコース	改札内:約 555 m ² 改札外:約 85 m ² 計:約 640 m ²	改札内:約 775 m ² (下りホーム側に通路増設) 改札外:約 185 m ² (改札位置変更) 計:約 960 m ²
改札	自動改札機: 9 基 有人改札: 1 通路	自動改札機: 11 基 (2 基増設) 有人改札(ウォークイン改札 ^{※1}): 1 通路
旅客便所	男:小 3 大 2 女:大 3 多機能便房:1	男:小 3 大 3(うち1:簡易型多機能便房 ^{※2}) 女:大 4(うち 1:簡易型多機能便房) 多機能便房:1
公共施設	—	地域交流拠点施設等:約 36 m ²

2 事業の進捗状況

- 令和元年度 事業合意 (覚書締結)
- 令和2年度 詳細設計、工事用車両搬入路整備、支障物件等移転など
- 令和3年度 工事用車両搬入路整備 (完了)、下り線ホーム拡幅・駅舎拡張の基礎工事



※1 有人通路をガラス張りで仕切った構造の改札で、より静かな環境でのコミュニケーションを必要とする旅客が快適に利用できる有人改札
 ※2 オストメイト用設備または乳幼児連れ旅客用設備を有する便房

- 〔凡例〕
- 駅舎改良
 - ホーム(拡幅)
 - 駅後方室(旧地平駅舎)橋上化
 - 地域交流拠点施設等
 - ホームドア

3 令和4年度の予定

下り線ホームの拡幅、駅舎拡張、電気や通信設備の支障移転工事